

鯖江市議会・市民創世会

# 大門よしかずレポート



鯖江市新横江1丁目7-22 TEL/FAX(0778)-52-7488 携帯 090-6810-2462

## 年頭に当たり



写真はHABより

新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は何かとご支援ご指導を賜り誠にありがとうございました。

どうぞ本年もよろしくお願いたします。

さて、議員生活も1年半を過ぎ、ようやく環境に馴染んできたと感じています。もとより浅学菲才ながら、私なりに提案、要望してきた事の一つひとつが形となり、施策となることで、やりがいを実感することができるようになりました。

これからも一般質問や委員会審議、担当部課とのやり取りなどに際し、議員として責任と発言の重みを自覚せねばならないと肝に銘じている今日この頃です。

## 12月議会一般質問より

### 全国都市住みよさランキングについて

東洋経済新報社による「全国都市住みよさランキング」では、全国790都市と東京23区の計813市区を評価対象としています。ランキングについては病院、住宅延べ面積など、15の指標を用いて算出されています。これらを「安心度」「快適度」など5つのカテゴリーに分け評価し、鯖江市は総合6位と素晴らしい評価を獲得しています。

その要因について

- ①とびぬけた指標はないものの、平均して上位にあり相対的に評価が高い。
- ②20%通勤圏補正により、福井市の一部の良い指標が採

用され、本市に有利に働いている。

福井県は「幸福度日本一」と認定されています。そして県内で鯖江市は坂井市(5位)に次いで住みよい街にランキングされています。このランキングを少しでも高めて「日本一幸せな県の一番住みよい街」を目指したいものです。

そこで各指標について幾つかの質問を行いました。

### 指標の中の「快適度」に関わる汚水処理人口普及率について

- ①公共下水道普及率は72.7%。農業集落排水は18.1%。合併浄化槽は3.5%。併せて94.2%の普及率です。(この場合の普及率とは接続可能な状態にある世帯の割合です。実際に接続している割合ではありません)
- ②福井県平均は94.2%。鯖江市は県平均と同じです。

### 目標値と接続率向上のための取り組みは

- ①第5次鯖江市総合計画での目標値は公共下水道接続率93.5%(現状値93.3%)。農業集落排水接続率92%(現状値89.2%)です。
- ②接続率向上のため、市内に下水道事業水洗化普及促進プロジェクトチームをつくり、接続率の低い町内を重点的に戸別訪問してお願いしている。環境フェアや各地区の文化祭で普及促進のブースを開設し普及啓発を実施している。

接続率が目標値をやや下回っています。接続率向上に向けて一層の努力をお願いします。

### 「快適度」に関わる都市公園について



長泉寺山と西山公園(左側)(グーグルマップより)

①都市公園とは都市公園法に基づき都市計画区域内に設置される公園。種類として住区基幹公園、都市基幹公園、大規模公園、緩衝緑地などの4種類です。

②本市の全体の公園数は180か所。合計の面積は86.86ha。市民一人当たりの公園面積は約12.6㎡。福井県平均は16.18㎡。全国平均は10.2㎡。

鯖江市都市計画マスタープランでの目標面積は139.3haです。この目標値を達成すれば市民一人当たり約20㎡を超え、県平均をも超えます。引き続き整備を要望しました。

### 長泉寺山(西山公園北側部分)の公園整備について

長泉寺山は供用されている西山公園以外の全体が都市公園計画区域に指定されています。このエリアは市街地の真ん中に在りながら、あまり人の手が入ってない為、とても豊かな植生(針葉樹、広葉樹、竹類が程よく混在)が残っています。そして、白山神社社叢や規模の大きな前方後円墳の存在も確認されています。また、イノシシや熊などの大型野生動物の生息も確認されていません。市民が身近に手軽に自然と触れ合える絶好の場所を提供しています。

そこで、長泉寺山の自然的、文化財的意義を伺いました。教育委員会の見解は



①自然と親しめる手頃な丘陵地であり、渡り鳥の休憩地として多くの野鳥が観測できる場所です。

②文化財としては白山神社社叢がある。

直径1m以上の杉が林立して独特の景観が残る。また、尾根上には70基近くの古墳が確認されている。このうち67号墳は市の文化財に指定されている。

③長泉寺山は手頃な都市内緑地であるとともに、歴史性を加味することで市民の方々の憩いの場、あるいは歴史教育の場として活用していただける。



### 長泉寺山 67号墳の整備について

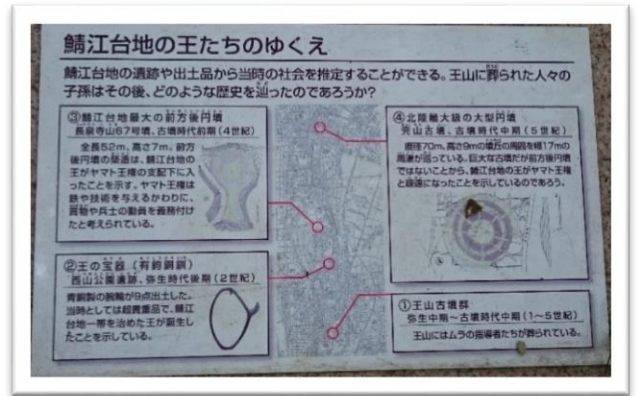
近年、高齢者の急激な増加に伴い健康長寿が叫ばれ

ています。森林浴やトレッキングなど、歩く環境の整備は大変重要な課題です。そこで、整備の目玉となる67号墳についてお伺いしました。

①全長約52mを有する前方後円墳で、長泉寺山古墳群では最大です。

②現地の整備はまだ。雑木伐採や下草刈りを実施し、形が分かるような簡単な整備をする。解説板も設置する。

③国指定や県指定に格上げされた後、復元整備などを検討していきたい。



長泉寺山 67号墳の概要(左上)

### 長泉寺山全体の今後の整備方針について

- ①山全体を環境保全ゾーンとして自然のままの姿を残していきたい。
- ②園路については里山の観察や手軽なトレッキングコースとして利用いただけるよう適切に維持管理をしていく。
- ③登山道の入り口などの案内表示は看板等を設置する。との回答をいただきました。

### 指標の中の「富裕度」について

富裕度に関しては全国市区で427位と他の指標に比べ弱い分野です。鯖江市の3大産業である眼鏡、繊維、漆器の現状はピーク時と比べてどうでしょうか。

- ①眼鏡は従業員数4,485人(7,972人)。出荷額約540億円(約1,145億円)、約53%減。
- ②繊維は従業員数1,879人(4,922人)。出荷額約366億円(約960億円)、約62%減。
- ③漆器は従業員数713人(1,502人)。出荷額約44億円(153億円)、約71%減。
- ④平成24, 25, 26年度は従業員数、出荷額とも僅かずつ増えてきている。

と大変厳しい現実を示していただきました。

注1)平成23年度福井県工業統計調査より。( )内はピーク時

注2)いずれも従業員4人以上の事業所を対象とした数字

### レッサーパンダを活用したシティプロモーション

昨年の3月27日新レッサーパンダ舎の開所式にあわ

せてレッサーパンダを「市の動物」に認定していただきました。



た。そこでレッサーパンダのシンボルデザイン公募事業について伺いました。

### 「市の動物」に認定されたレッサーパンダ

①「メガメガ・ウルウル」は平成17年にNPO法人SDWA VEによりデザインされた。平成23年度に市のマスコットキャラクターとして着ぐるみを作成し、さまざまなイベントで活用している。

②つつじバスのラッピング、JR鯖江駅の乗降口など鯖江市のほか10団体18件の利用実績がある。

③デザイン元と著作権譲渡契約に向けた準備をすすめている。契約完了の後、現在作成委託中のデザインマ



ニュアルを公開し、市民が広くシンボルマークを活用できるよう進めたい。

### 市のマスコットキャラクター「メガメガ・ウルウル」



### レッサーパンダを活用したまちづくりアイデア募集について

昨年、レッサーパンダを活用したまちづくりアイデア募集を行いました。その結果について伺いました。

①昨年の4月25日から6月30日までの間広報さばえやホームページを活用して広く募集した。その結果全国から101点の応募があった。抽選で7名の方にレッサーパンダのグッズを贈呈した。

②提案の多かった商品シール、手すり、柵などへの活用は実用化に向けて検討する。

③市の封筒のデザインに新たに「メガメガ・ウルウル」を採用する。

④市民発案によるつつじまつりでのレッサーパンダ色の誘導シールや商店街の花壇の装飾など、レッサーパンダ

を活用したまちづくりの輪が着実に広がっている。

### メガメガ・ウルウルのブラッシュアップについて

ゆるキャラには市や町の名物、産業をアピールし観光や産業の発展を促す役目が担われています。そういった観点から見ると更なるブラッシュアップが検討されても良いのではないのでしょうか。具体的には

①メガメガには常にメガネを掛けてもらい「めがねのまちさばえ」をアピールする。掛けるメガネは話題性のあるもの（スマートグラスや話題のタレントのモデルなど）を掛けさせる。

②ウルウルには越前漆器をPRするため、お椀を帽子のように被ってもらい、季節やイベントに合わせて蒔絵を変える。（お椀は布製で蒔絵はワッペンなどで対応）

③石田縞などの生地を使った服を着せ鯖江の繊維をアピールする。



などの提案をしました。それに対する見解は

①現在のデザインが広く子どもたちを含め市民に浸透し、愛されるキャラクターとなっているため、基本的に今のデザインを活用していく。

②一人でも多くの市民や県内外にレッサーパンダが「市の動物」として認知して頂けるようPR活動を進める。

③子供向けや家族の温かさなどを象徴できるようなイメージ戦略を考えていく。

との回答をいただきました。「メガメガ・ウルウル」はとても愛らしいキャラクターです。戦略次第で大いに人気盛り上がるものと思います。期待したいものです。

### JR鯖江駅前を鯖江の顔としてふさわしいものに

現在の鯖江駅前は鯖江の顔としてその機能を充分果たしているでしょうか。総合戦略ではコンセプトとして「世界にはばたく地域ブランド めがねのまちさばえ」を掲げています。これは眼鏡産業だけでなく繊維や漆器、農業などの産業をはじめ、歴史、伝統、文化、自然、環境、市民性など全てを包括し、これらを活かして地域ブランド力を高め、魅力ある雇用の創出、若者が住みたくなる、住み続けたくなる街づくりを目指すものです。

しかし、市民の多くはこのコンセプトもキャッチコピーも知らないと思われます。やはり鯖江市が目指している施策は市民に周知し、その思いを共有すべきものと思います。

そこでJR鯖江駅前の新たな顔の整備と、めがねミュージアムへの案内などを要望し、市の考えを伺いました。



JR鯖江駅前の看板やモニュメント

①近年、サンドームでの集客力の高いイベントが定着し、県内外から多くの来訪者がある。JR鯖江駅前は鯖江市をPRする絶好の場所と捉えている。

②眼鏡のモニュメントや広告などの表示内容、「メガメガ・ウルウル」の活用など、本市が「めがねのまち」であることを強くPRするため、モニュメントの配置や看板の意匠、全体的なバランスを含め十分に検討する。

③鯖江駅南側の地下道入り口からめがねミュージアムまでをメガネストリートとして、F×Gによるふるさと納税を活用して整備する。めがねをかたどったペイントや植樹桧、タペストリーなどの整備にあわせルート案内の役割も果たすよう工夫していく。

との事です。サンドームでの多くのイベント、福井国体など、たくさんの方が県内外から訪れます。その方々に鯖江市を上手にアピールし好感を持ち、興味を持っていただくことが市の活性化に繋がって行くと思います。

## つつじバスが便利になります

「どこでも歩いて行ける 豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境」の実現に向けて本年4月からつつじバスが変わります。

### ●通勤・通学便の運行

①市民の通勤・通学目的の交通手段を確保するため、市内各地区と主要乗り継ぎ拠点を連絡する路線を運行する。

②市内各地区と主要乗り継ぎ拠点であるJR鯖江駅、JR北鯖江駅、福武線神明駅を連絡する便を方面別に運行する。運行便数は、朝夕1便とする。

### ●快速便(幹線)の運行

①現在のつつじバスのターミナルであるJR鯖江駅、福井鉄道神明駅に、JR北鯖江駅、嚮陽会館を加えた4つの主要乗り継ぎ拠点と地区乗り継ぎ拠点(地区公民館)間を快速で連絡する。それにより日常生活における通院、買い物などの移動ニーズに対応する。

②主要観光施設である「ラポーゼかわだ」までの所要時間を短縮し、利便性を向上させる。

### ●鯖浦線(神明駅～織田・かれい・崎)の延伸

従来、神明駅発着の鯖浦線をアルプラザ鯖江店経由でJR北鯖江駅まで延伸します。

### ●越前市のコミバスが北中山公民館まで乗り入れます

今立地区や越前市内へのバス乗り継ぎができます。

### ●アルプラザ鯖江店のバス停を移動します

従来、遠くて不便、待合場所もないと不評だったバス停を正面玄関付近に移動します。これで、買い物に便利になるばかりでなく、風雨や雪に悩まされる事もなくなります。

### ●市役所バス停を移動します

神明方面からの市役所バス停は市役所から遠く、回り道をして交差点を渡る。ま

または横断地下歩道を通るために多くの階段を上がり降りしなければなりません。そこで新たに市役所敷地南東角(越前家具前)にバス停を移動します。



## あとかき



嶺北忠霊塔入り口の左にある福井県平和祈念館。遺学会のご尽力により戦争遺品が展示保存されています。

戦後70年余、私も含め今や戦争を知らない人がほとんどです。親から当時の様子を話に聞きましたが、体験のない事を口では次の世代に伝えることは出来ません。

当時の人たちの苦難を少しだけ感じる事ができ、今の平和を有り難く思わずにはいられません。機会があれば皆さんも一度立ち寄ってください。(見学は要予約)